

令和6年度第1回三重県観光誘客推進会議 概要

1 開催日時：令和6年4月30日（火）14時25分から14時40分まで

2 議事概要：以下のとおり

（生川観光部長）

令和6年度第1回三重県観光誘客推進会議を開催する。三重県観光振興基本計画（令和6年度～令和8年度）に基づく令和6年度アクションプラン（案）について、ご確認いただきたい。事務局から説明させていただく。

※資料1・資料2について、事務局（福島観光部副部長）から説明。

（佐波南部地域振興局長）

熊野古道伊勢路世界遺産登録20周年をチャンスと捉え、観光客を呼び込むような取組、シンポジウムの開催、歩きやすい周辺整備に取り組んでいる。皆様のご協力を改めてお願いしたい。

（松下雇用経済部長）

大阪・関西万博は国内外から誘客する絶好の機会である。開催まで1年を切った中、機運を盛り上げていく取組を進めていきたい。その際、三重の文化や農産物等、様々な分野の発信をしていきたいので、引き続き各部局のご協力をお願いしたい。

（生川観光部長）

三重県観光振興基本計画（令和6年度～令和8年度）に基づく令和6年度アクションプラン（案）については、本案のとおりとさせていただく。

（一見知事）

- ・本日定めた三重県観光振興基本計画（令和6年度～令和8年度）に基づく令和6年度アクションプランに取り組んでいくにあたり、4点指示をする。
- ・1点目はインバウンド。ゴールデンルート付近にあるという立地を活用した方策を考えていくべき。
コロナ後の外国人旅行者は、成田国際空港、東京国際空港（羽田空港）、関西国際空港、中部国際空港の順に戻ってきている。今後は、関西国際空港利用者の誘客にも取り組んでもらいたい。
- ・2点目。熊野古道伊勢路世界遺産登録20周年や大阪・関西万博では、特に交通事業者と連携した誘客に取り組んでほしい。本県の多くの魅力を首都圏、関西圏、中部圏に対し、強力でプロモーションすべき。
- ・3点目。観光施策はプロモーションを中心にやってきたが、国では方針を変え、宿泊施設や観光施設等の観光資源を強化する取組を支援している。

県においても、令和6年度は滞在型の補助金を創設しているのので、インフラ整備を進めてもらいたい。

- ・最後に、2033年の第63回神宮式年遷宮を念頭に置き、三重県観光振興基本計画（令和6年度～令和8年度）に基づく令和6年度アクションプランに従い、市町、DMO、観光事業者と連携して取り組んでももらいたい。